

一般社団法人大崎町SDGs推進協議会  
作成者:高橋

# メグルカグプロジェクト 2023年度 クロージングレポート

# 1.レポート概要・目次

## 1-1.報告書の概要

メグルカグプロジェクト(以下、本プロジェクト)は、大量廃棄される小学校の机・椅子を「廃棄」以外の方法が選べないかという課題解決を目的にスタートした。一般社団法人大崎町SDGs推進協議会(以下、協議会)では、これまで様々な事業を通して培ってきた広報力を活かし、運送によるCO2削減を前提に100km圏内でこれらを活用可能な方々を公募した。結果として、大量にストックされていた机・椅子は約1ヶ月で次の利用者の方々の手に渡すことができた。

本報告書は、本年度実施した活動概要と、環境面および経済面からの評価を考察し、次年度以降のプロジェクトの可能性を探ることを目標に作成する。

## 1-2.目次

1.レポート概要・目次.....	1
1-1.報告書の概要.....	1
1-2.目次.....	1
2.メグルカグプロジェクトについて.....	2
2-1.背景.....	2
2-2.家具・インテリア業界の動向.....	3
2-3.協議会が取り組む意義.....	4
2-4.活動概要.....	5
3.SDGsとターゲットについて.....	8
4.本事業がもたらした環境への効果.....	9
4-1.廃棄による環境負荷の低減.....	9
4-2.輸送による負荷の低減.....	9
5.本事業がもたらした経済的効果.....	10
5-1.通常処理費と事業費比較.....	10
5-2.地域への経済効果.....	10
5-3.その他の経済効果.....	10
6.考察(次年度の活動での課題).....	11
6-1.本年度のまとめ.....	11
6-2.考察.....	11
6-3.次年度の実施方針について.....	12
7.資料編.....	13
7-1.2023年度応募者のリユース/アップサイクル事例.....	13
7-2.他地域でのリユース/アップサイクル事例.....	34

## 2.メグルカグプロジェクトについて

### 2-1.背景

現在、世界中で家具・インテリア製品が大量生産されている。それに伴い、まだ十分使用可能な製品であっても行き場がなくなったものは廃棄物として処理されている。これらの背景には生産性の効率化が進み、様々な製品がより安価に入手できるようになったことが拍車をかけていると考えられる。しかし、今後は資材・生産コストの高騰、また配送業圧迫に伴い特に地方においては費用的な負担が大きくなる可能性もあることから、新規製品導入以外の方法として既存製品を収集・再利用することの必要性が高まると予想される。こういった背景をもとに、「今あるものをうまく使う」という視点で、鹿児島においても創造的なリユース・アップサイクルの取り組みを実施する意義があると考えられる。



fig01\_HP用に撮影したメインビジュアル

## 2-2.家具・インテリア業界の動向

家具・インテリア業界共通の課題解決として、不要家具の引き取り・リユース・リサイクルなどの資源循環といった、環境負荷の少ないサプライチェーンの構築とサーキュラーエコノミーの実現<sup>1</sup>を目指し、令和5年よりカリモク家具株式会社、飛騨産業株式会社をはじめとした、家具メーカー、家具小売業、物流企業など家具インテリア業界のサプライチェーンに関わる有志企業35社が家具インテリア業界の環境経営促進に協同連携して取り組む、リサイクル&リニュー協議会が設立された。

同協議会は、4つのワーキンググループを順次立ち上げ、サプライチェーンの動脈産業(生産・物流・販売)から静脈産業(維持・廃棄・再生など)までの事業分野を連携して管理していく意向だ。ワーキンググループで取り組むことは、以下の4つである。

### 1、リソーシング

現在の引取処分問題の把握から、不要家具の引取・分別、再資源化促進までの資源循環のループをつなぐ事業モデルの研究開発

### 2、長期愛用・リニュー

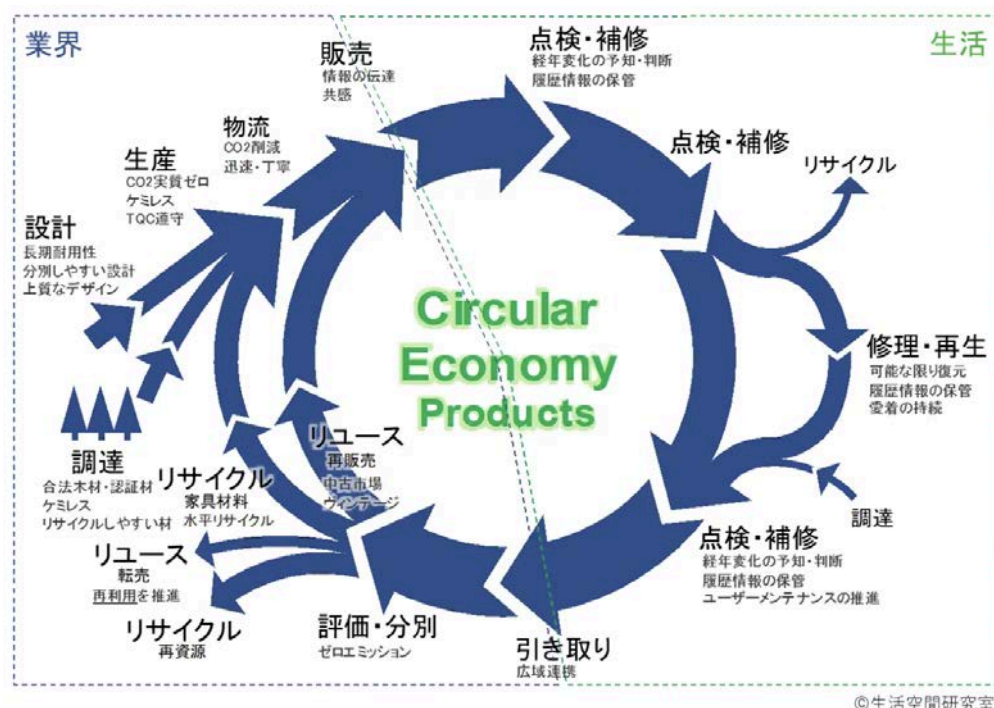
製品の長寿命化による環境負荷低減に向け、劣化予測・製品評価・修理・維持技術を含めた仕組みの研究開発

### 3、ZEROカーボン

家具インテリア業界のサプライチェーンにおけるライフサイクル全体のCO2削減技術の研究開発、業界全体の取り組みの推進

### 4、再生設計

原材料の産地・認証・流通の実態把握、資源としての持続可能性、環境保全性の評価、再生材の技術開発、環境性能評価指標の研究開発、環境配慮型家具の開発推進



fig\_02\_家具資源循環図(出典:家具インテリアリサイクル&リニュー協議会)

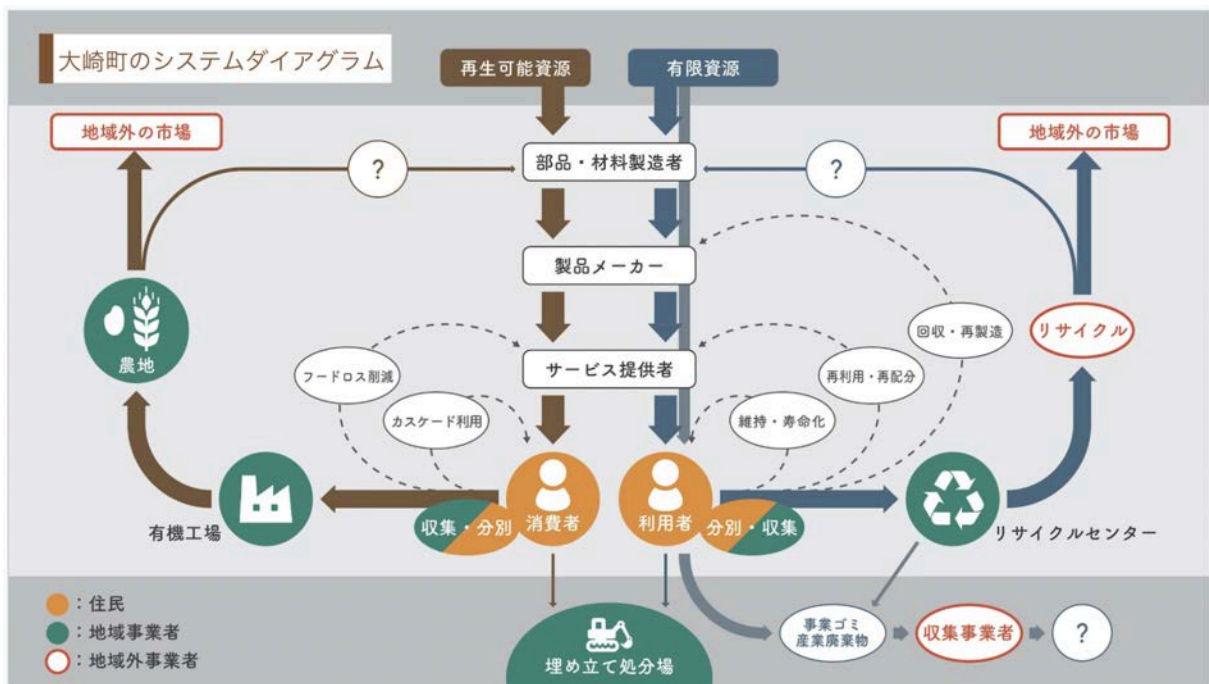
社会的背景や時代の要請に伴い、不要家具の引き取りなどに取り組む企業も上記のように増えてきているが、まだ業界全体としてはわずかである。

<sup>1</sup> リサイクル&リニュー協議会 HP参照(最終閲覧日2024年3月22日)  
<https://www.kagurandr.com/>

## 2-3.協議会が取り組む意義

協議会は主に資源循環をテーマに活動しており、サーキュラーエコノミーの理念に基づき大崎町を舞台に資源循環の方法を社会に導入することを目指している。そのため、下図に示すとおりリサイクルをベースとした、維持・長寿命化、再利用・再配分、回収・再製造のルートの構築にも着手していきたいという考えがある。

そこで鹿児島市に本社を置く株式会社久永(敬称略)から大量廃棄される学校家具を「廃棄」以外の方法が選べないか相談を受け、共同プロジェクトとして実施した本プロジェクトは、家具のリユース・アップサイクルの事例創出を行いながら、家具の維持・長寿命化や再利用・再配分のルートをつくることは、その一歩目となると考えられる。



fig\_03\_大崎町のシステムダイアグラム(出典：一般社団法人大崎町SDGs推進協議会)

## 2-4.活動概要

### 2-4-1.実施内容・日程

Step01: 机・椅子のピックアップ(3/28)

机 (1種): 117台(木製)

椅子(2種): 114台(木製81台、金属脚31台)

Step02: 写真撮影、図面作成、協議会HP記事作成(3/28~4/23)

Step03: プレスリリース、公募用ページ公開、SNSを用いた広報実施(4/24)

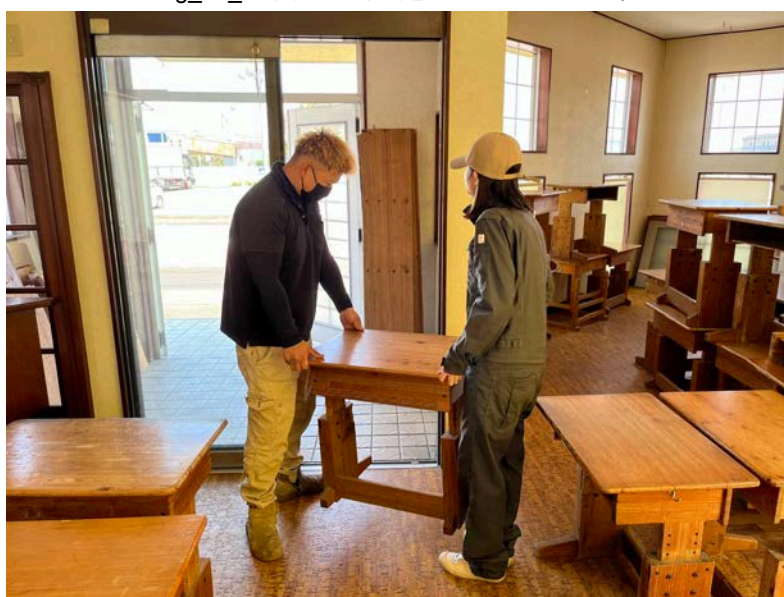
(KTSテレビコーナー「大隅フラッシュ」にて報道(5/19))

Step04: 公募締切(全ての机・椅子の行き先が確定したため)(5/23)

Step05: 全ての引き渡し完了(8/3)



fig\_04\_小学校から家具をピックアップする風景



fig\_05\_家具引き渡しの様子

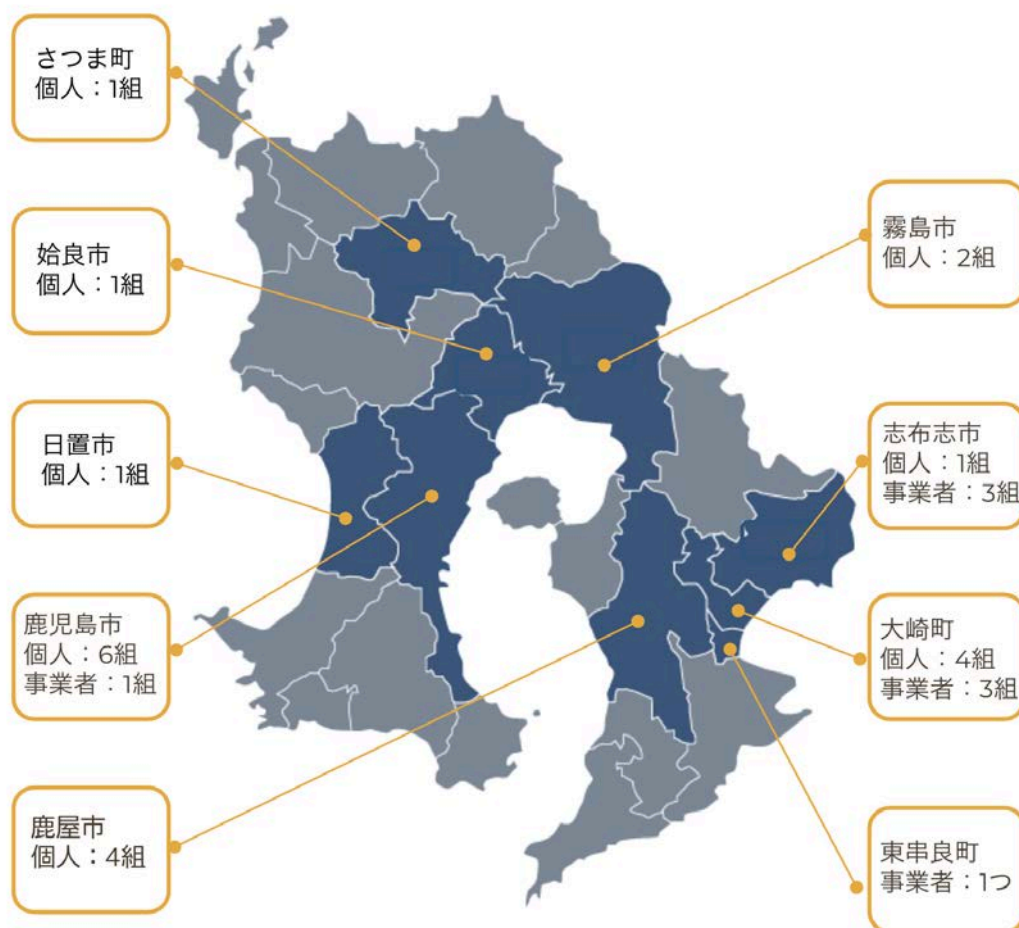
## 2-4-2.参画企業

- 共催:株式会社久永 / 一般社団法人大崎町SDGs推進協議会
- 協力:山中醤油株式会社(運送作業のサポート、アップサイクル事例作成等)
- 協力:合作株式会社(倉庫提供)

## 2-4-3.利活用参加者について

事業者	8組
個人	19組*
計	27組

\*応募後引き取りが難しくなり、個人1組が辞退



fig\_06\_リユース・アップサイクルの行き先について

#### 2-4-4.参加者・アンケート結果

全ての家具引き渡しは大崎町にある倉庫にて実施した。その際に簡易的なアンケートを行い、応募理由やどのようなニーズがあるのか等の調査・分析を行った。

---

##### Q1.企画に応募した理由、またどこに魅力を感じたか

長期間使われて味が出ている家具に惹かれたという応募者が多く、特に木製の家具は人気が高かった。また一人用の机・椅子でそこまで大きくないものや高さの調整ができるものを探していたという声も聞かれた。

##### Q2.HPを見てどう感じたか

写真があることでイメージがしやすかった、分かりやすかったという声が多く聞かれた。一方で、スマホからは外部のサイトが見えづらく、フォームの入力や在庫状況の確認がしにくかったという声があった。

またテレビを見て応募を決めた方々はHPをあまり見ていなかったという声も多く、HPが応募の決め手になった訳ではないようだったが、子供や家族と相談する際に役立っていたようだったため、プロジェクトの内容が分かる文章やイメージが伝わる写真・画像は重要だと考える。

##### Q3.今回の提供によっていくら浮いたか(元々どのくらいの予算で家具を探していたか)

半数以上(27組中15組)の応募者が元々家具を探していた訳ではなく、無償譲渡が広く告知されたことで参加したということが分かった。  
もともと購入等を想定した方に限定し、考えていた予算を合計すると全体で134,000円分という結果になった。

##### Q4.有償でも応募するか

約7割の参加者は有償でも応募をすると回答した。  
有償の場合は机と椅子セットで1,000円～3,000円程度との回答がもっとも多かったが、交通費も含めてという声もしばしばあった。

---

以上のアンケート結果より、古くなった学校家具においてもその意匠性と高さの調整等の機能、一人用などの点から一般的にもニーズを見込める製品ということがわかった。

また有償であっても応募を考えるとといった回答が多かったため、次年度は有償での応募を実証的に行うことで、より持続的な取り組みへと発展できると考えられる。

特筆すべき点として周辺地域の児童福祉関連の事業者から応募が複数あり、大隅半島エリアにおいても児童福祉のニーズの高まりがあることが明らかになった。そういった社会インフラ的施設への貢献など、副次的効果も多く見込めると考えられる。



### 3.SDGsとターゲットについて

本プロジェクトは、SDGsにおけるターゲット12「つくる責任、つかう責任」に貢献したと考えられる。特に、家具小売業という側面から具体的には以下のターゲットの課題解決につながる可能性がある。

- ターゲット12・2「天然資源の持続可能な管理と利用」
- ターゲット12・5「廃棄物の発生の大幅な削減」
- ターゲット12・8「持続可能なライフスタイルの理解を広く浸透させる」

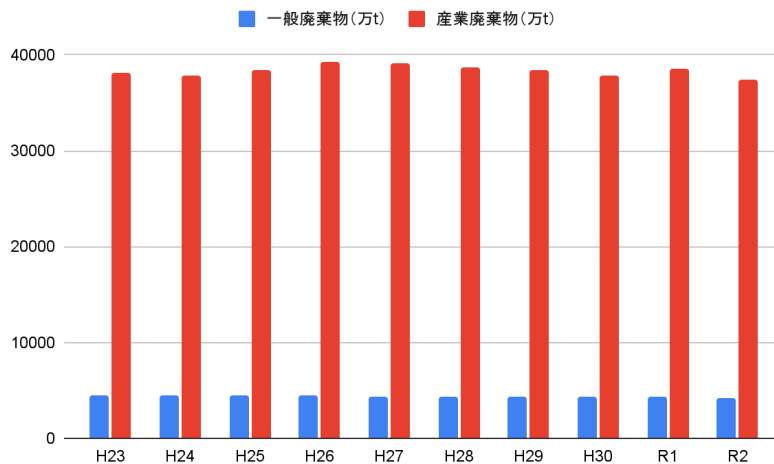


fig\_07\_SDGsポスター(出典:国際連合広報センター)  
\*本プロジェクトに関わるアイコンの強調のため作成者が一部改変

## 4.本事業がもたらした環境への効果

### 4-1.廃棄による環境負荷の低減

産業廃棄物の割合は一般廃棄物に比べて極めて大きく、令和2年度における全国の産業廃棄物の総排出量は約3億7,400万トンであり、全国の一般廃棄物の総排出量は4,167万トンと比較しても一般廃棄物の約9倍もの差がある。それによる埋立処分場の圧迫やGHG(温室効果ガス)排出量が課題となっており、本プロジェクトは産業廃棄物を減らすことに寄与する。

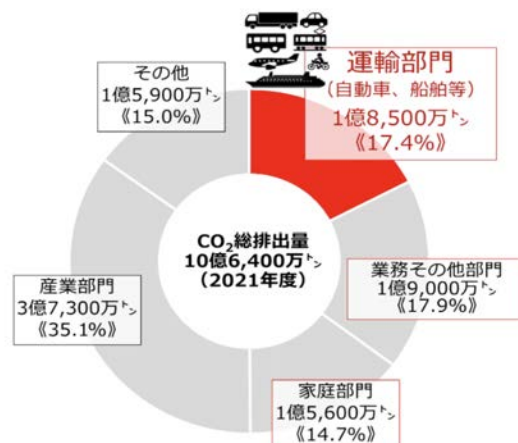


fig\_08\_一般廃棄物および産業廃棄物の総排出量の推移  
(環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況」、「一般廃棄物の排出及び処理状況」のデータを元に作成)

### 4-2.輸送による負荷の低減

国土交通省によると、2021年度における日本の二酸化炭素排出量(10億6,400万トン)のうち、運輸部門からの排出量(1億8,500万トン)は17.4%を占めている。<sup>2</sup>

新しい家具を購入するのではなく、地域にある家具を使うことによって輸送による負荷の低減に貢献すると考えられる。



fig\_09\_我が国の各部門におけるCO<sub>2</sub>排出量(出典:国土交通省)

<sup>2</sup>国土交通省HP「運輸部門における二酸化炭素排出量」参照(最終閲覧日2024年3月22日)  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei\\_environment\\_tk\\_000007.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html)

## 5.本事業がもたらした経済的効果

### 5-1.通常処理費と事業費比較

<当初想定された通常廃棄費(概算)>

- 分別による人件費:180,000円(稼働人数6人×累計稼働時間12h×時給2,500円設定)
- 産業廃棄物処理費:165,000円(令和4年度)
- 計:350,000円

<本年度事業費(概算)>

- 人件費:230,000円程度(累計稼働時間90h×時給2,500円設定)
- その他諸経費:60,000円程度(運送、賃料等)
- 計:290,000万円

注釈)本プロジェクトは廃棄処理と異なる手法として実施したことから、そこで発生した費用を明らかにする。当該費用は事業計画等に基づかない結果的に発生したと考える概算金額である。

以上、2つの費用比較をしたところ、再利用したことで約15%コストを削減することができた。

### 5-2.地域への経済効果

本プロジェクトでは原則無償提供を実施したが、それにより間接的に地域への経済効果を生んだと考えられる。アンケート結果からその数値を推察する。

- アンケートQ3「今回の提供によっていくら浮いたか(元々どのくらいの予算で家具を探していたか)」より
  - 応募者の家具購入予算の総額:134,000円

### 5-3その他の経済効果

- 2023年4月24日 本プロジェクトのプレスリリース
  - リリース転載 17件
  - 広告換算費 2,54,440円
- 2023年5月19日 KTS鹿児島テレビ「大隅フラッシュ」放送
  - 放送に伴うパブリシティ 1件
  - パブリシティ転載 5件
  - 広告換算費 19,490円

注釈)広告換算費が算出することができていない媒体の広告換算費は含めていない。

## 6. 考察

### 6-1. 本年度のまとめ

当初の目的であった廃棄物削減に寄与することができた。また、学校家具の処理にかかる、分別等の人件費および産業廃棄物処理費削減という、株式会社久永が抱えていた課題の解決も達成することができたと考えられる。

### 6-2. 考察

#### 6-2-1. 環境への効果

本年度は廃棄物を削減することが出来たが、同時に地域内での輸送量増加などの変化が見られたことから、一概にGHG排出量削減等の効果があったと評価することができなかった。こういった変化を明確にするため、次年度は専門家と協力しながら進める必要がある。

#### 6-2-2. 経済的効果

通常の処理費と比較してもローコストで全ての机・椅子を再利用することができた。また原則無償提供としたため、再利用側が同等品を購入した場合の費用が浮き間接的に地域に還元することが出来たと言える。

以上のことからローコストで廃棄家具を用いた社会貢献につなげることができる一例になったと考えられる。ただし見えないコスト(人件費・場所代等)も多くあることや、協議会側が負担した金額もあるため、継続した事例作成を通してより確実な費用を算出する必要がある。

#### 6-2-3. その他

##### ①地域のハブになることができたこと

学校家具の再利用を広く公募した中で、放課後等デイサービスなどの福祉施設からの応募が多く見受けられた。近年施設が増加傾向にあるなどの背景も考えられるが、同時に運営予算をなるべく抑えたいなどの経営的ニーズが強く応募が多かったと考えられる。その中で教育機関や地方公共団体の横の連携が少ないという実態も明らかになった。そのため民間組織が主導した取り組みがハブとなり、さまざまな受け入れ先に情報を届けることができたのではないかと考えられる。

##### ②アップサイクルについて

再利用内容を見ると、アップサイクルと言っても用途の変更等は少なくあくまで子供用家具としての利用が多く見られた。用途変更などは特にモノづくりを生業としている事業者によく見られ、一般的には工具などの問題から大きな改変は難しいと考えられる。

## 6-3.次年度の実施方針について

本年度の活動を通して、次年度の4つの方針を掲げる。

### 方針① 地域を超えた廃棄と再利用のハブになる

本年度の活動を通して、学校家具においては子供用需要がもっとも高く、また福祉施設等の一定数量必要な方々が多くいることが分かった。そして民間組織を介して提供することで地域をまたぎ提供することができたことから次年度においては、特に教育機関・福祉施設等の関係者への告知を先だてて行う。

### 方針② 実証実験としての有償提供

アンケート結果より、半数以上の応募者が元々家具を探していた訳ではなく、無償譲渡が広く告知されたことが応募動機であった。しかし、結果的に有償でも応募を検討する応募者は7割であったことから、有償の場合どのくらいの金額までニーズがあるのか調査を実施する。これらの調査は方針①での提供が完了し在庫が出た場合に行う。

### 方針③ 環境への効果

専門家との連携などさまざまな手段を用いてGHG排出量等の具体的な数値を導き出し、本プロジェクトの環境への効果をより具体的に評価する。

### 方針④ メグルカグプロジェクトの持続性および展望の計画

アップサイクル拠点やリユースルートの構築など、より長期的な展望で計画を発展させる。具体的には、応募者との継続的なネットワークの構築や学校家具以外の活用の検討、家具の保管場所の確保、家具の提供のための情報発信の確立などである。

## 7.資料編

### 7-1.2023年度応募者のリユース/アップサイクル事例

※2024年3月22日までに写真を提供いただいた応募者の事例を記載

#### 事業者① 山中醤油株式会社

- 地域 | 東串良
- 使用用途 | 机、花器、レコードプレーヤー
- 改変内容 | 記事参照<sup>3</sup>



資料\_fig1\_作品名: 仲直りテーブル



資料\_fig2\_作品名: お祝いチェア



資料\_fig3\_作品名: スクールレコードプレーヤー

- コメント |  
廃棄するには忍びないと思う人と、それを欲しいと思う人が繋がっていくと良いと思っています。例えば、机を木片と金属の塊に分け、素材としてリサイクルするだけでなく、机のままの状態だからこそ欲しいという人へ渡っていく。そんな物の循環ができれば、よりおもしろいことができると考えています。

<sup>3</sup> <https://www.osakini.org/meguru-kagu-yamanakasoyasauce/>

弊協議会のHP\_記事タイトル\_「メグルカグプロジェクト」事例紹介 | 山中醤油

## 事業者② 川森鉄工所

- 地域 | 大崎町
- 使用用途 | トイレ紙ホルダー、ローテーブル、キッチン棚
- 改変内容 | 天板などを切断して活用。詳細は記事参照<sup>4</sup>



資料\_fig4\_作業場の風景



資料\_fig5\_チャレンジ朝市にて

- コメント |  
使い込まれた木製の机と椅子にかわいらしさを感じ応募しました。無理に形を変えるのではなく、このままの形を活かしたのも今後作れたらと考えています。

<sup>4</sup> <https://www.osakini.org/meguru-kagu-kawamoriiron/>

弊協議会のHP\_記事タイトル\_「メグルカゲプロジェクト」事例紹介 | 川森鉄工所

### 事業者③ N.garage

- 地域 | 大崎町
- 使用用途 | 飾り棚、ハイチェア
- 変更内容 | 椅子の腰掛けや椅子の座面を活用。詳細は記事参照<sup>5</sup>



資料\_fig6\_腰掛けを活用した飾り棚



資料\_fig7\_座面を活用したハイチェア



資料\_fig8\_製作者の倉ヶ崎さんご夫婦

- コメント  
この作品が誰のものになるにしろ、持ち主の顔が分かる状態が嬉しいです。その人が愛着をもって大事に使ってくれたらと思います。

<sup>5</sup> <https://www.osakini.org/meguru-kagu-ngarage/>

弊協会のHP\_記事タイトル\_「メグルカグプロジェクト」事例紹介 | N.garage (エヌガレッジ)



#### 事業者④ 株式会社FLC放課後等デイサービス

- 地域 | 志布志市
- 使用用途 | 放課後等デイサービスでの利用
- 変更内容 | 詳細は記事参照<sup>6</sup>
  1. 木製机の足にキャスターをつけ、一人でも持ち運び可能にする
  2. 椅子の足にゴムを取り付け、ガタつきをなくす
  3. 子どもたちの身長に合わせて、机・椅子を調整する



資料\_fig9\_取り付けしたキャスターの様子



資料\_fig10\_自分で付けたキャスターを使い机を運ぶ様子

#### ● コメント

当施設は今年度4月より開所し、まだまだ様々な物品が不足している中、4月にこちらのメグルカグプロジェクトを知りました。

本来は行き場をなくし、廃棄される予定の机や椅子を再利用する形で、引き取り先を探しているということだったため、直ぐに連絡させていただきました。

初めて拝見させて頂いた際、歴史を感じさせる古さではありましたが、使用に何ら問題も無くこのプロジェクトに共感を感じ、ぜひ利用させていただきたいと思いました。

引き取りのお話が進む中で、子どもたちにより安全に、より使いやすくするためにその後のリペアワークのご提案のお話もいただき、今回の運びとなりました。

実際、子どもたちもリペアワークに参加したことで、自分たちが日ごろ使用している物に、歴史があり、めぐっていくものだと気づき、より一層愛着が沸いたように感じます。帰りの会においても、一日の感想を発表する時間があるのですが、その発表の中でみんな「楽しかった」と教えてくれたので素敵な思い出になったのだと思います。

安全に使いやすく改良し、なおかつ子どもたちへ思い出の残る良い経験をさせていただきとても感謝しております。本当にありがとうございました。

<sup>6</sup><https://www.osakini.org/meguru-kagu-lien/>

弊協議会のHP\_記事タイトル\_子ども向けリペアワークショップを開催しました

事業者⑤ e-環強合同会社

- 地域 | 志布志市
- 使用用途 | 放課後等デイサービスでの利用
- 変更内容 | 特になし(リユース)



資料\_fig11\_放課後等デイサービスでの利用の様子



資料\_fig12\_これまで利用されていた家具(左)と今回譲渡した家具(右)

**事業者⑥ Esplanade(エスプラネード)**

- 地域 | 志布志市
- 使用用途 | コワーキングスペースでの利用
- 改変内容 | やすりがけ、塗装



資料\_fig13\_コワーキングスペースの様子。譲渡した家具は右側

- コメント  
自主施工によりかなり工期かかってしまいましたが、空間に良く合っており、素敵です  
😊

個人① | 堀之内 隆久

- 地域 | 霧島市
- 使用用途 | 子供用の学習机
- 変更内容 | そのままの利用



資料\_fig14\_譲渡した家具で勉強する様子(堀之内さま)

- コメント  
子供達の勉強机を探していました。そして新しいものを買うのではなく、家にあった古い机を探していました。子供達の勉強机、そして気に入ったらしくご飯も机で食べています。

## No.2 | 櫛間 仁

- 地域 | 鹿屋市
- 使用用途 | 自分用の机
- 改変内容 | 天板および引き出し部分の改変



資料\_fig15\_天板の様子



資料\_fig16,17\_ボトルが収納できるように改変した引き出し

**No.3 | 菊水 みちよ**

- 地域 | 日置市
- 使用用途 | 来客用などの机
- 改変内容 | そのままの利用



資料\_fig18\_実際の利用の様子(菊水さま)

#### No.4 | 野崎 敦子

- 地域 | 鹿児島市
- 使用用途 | 子供の勉強机
- 変更内容 | やすりがけや塗装



資料\_fig19\_お父様に見守られながら姉妹で作業している様子



資料\_fig20\_完成品との記念写真

- コメント  
子供たちの夏休みの課題も兼ねて机と椅子を一新し、アンティーク風な可愛い勉強机が完成致しました。素敵な椅子と机をありがとうございました。我が家で大切にさせていただきます。
- 補足資料 ■ [【メグルカグ】野崎さま自由研究.PDF](#)  
※本プロジェクトを自由研究の題材とし、まとめてくださった資料を添付

## No.5 | 森山 蒼太

- 地域 | さつま町
- 使用用途 | 自分用の机
- 改変内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig21\_実際の利用の様子(森山さま)

- コメント  
アンティーク家具が好きで、このような風合いの家具を探していました。普通の机として利用させていただいています。



## No.6 | 中倉 望

- 地域 | 大崎町
- 使用用途 |
- 変更内容 | 塗装、連結



資料\_fig22\_塗装をする様子



資料\_fig23\_完成品

- コメント |  
早速ペイントし、ガーデンインテリアにさせていただきました。インスタの方へ投稿させて頂いております。よかったら覗いていただけると嬉しいです！
- SNS [中倉さま\\_instagram投稿\\_](#)

## No.7 | 今村 つとみ

- 地域 | 鹿児島市
- 使用用途 | ミシン台
- 改変内容 | やすりがけ、柿渋およびミツロウクリームの塗布



資料\_fig24\_塗装前(左)と塗装後(右)



資料\_fig25\_ミシン台として使われる様子

- コメント |  
改変せずそのままの活用ですが…。元々の使い込まれた木の風合いを残したかったので、まずビスやネジで外せる部分を全て外しサンドペーパーで磨きました。その後、柿渋を2回塗布し、ミツロウクリームで仕上げました。

## No.8 | 中島とよ子

- 地域 | 大崎町
- 使用用途 | ガーデニング(多肉植物用の棚、台)
- 改変内容 | 塗装。水はけ・通気性が良いよう金網をつけ、棚を作成



資料\_fig26\_アップサイクルした棚および鉢に多肉植物が飾られている

- コメント  
DIYが大好きなので、多肉植物を見に来てくださる方に話しのネタにしています。誰でも使った事のある小学校の机と椅子ってステキじゃないですか？GreenSnapにも多肉植物を沢山あげているので 出来上がった大きな木箱に沢山寄せ植えして机のDIYのこともそえてアップしたいなと思います。

**No.9 | 谷口 鮎美**

- 地域 | 鹿児島市
- 使用用途 | 子供の勉強机
- 改変内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig27\_譲渡した家具で勉強する様子(谷口鮎美さま)

- コメント |  
よく机を使って宿題をしています。

**No.10** | 上村 博文

- 地域 | 始良市
- 使用用途 | DIY用の作業台
- 変更内容 | 防腐剤の塗布



資料\_fig28\_完成したDIYの作業台

- コメント | 自分に合った高さに調整できるのでとても使い易いです。
- SNS |
  - [上村さま instagram投稿①](#)
  - [上村さま instagram投稿②](#)
  - [上村さま instagram投稿③](#)
  - [上村さま instagram投稿④](#)

**No.11 | 飯盛 瑞穂**

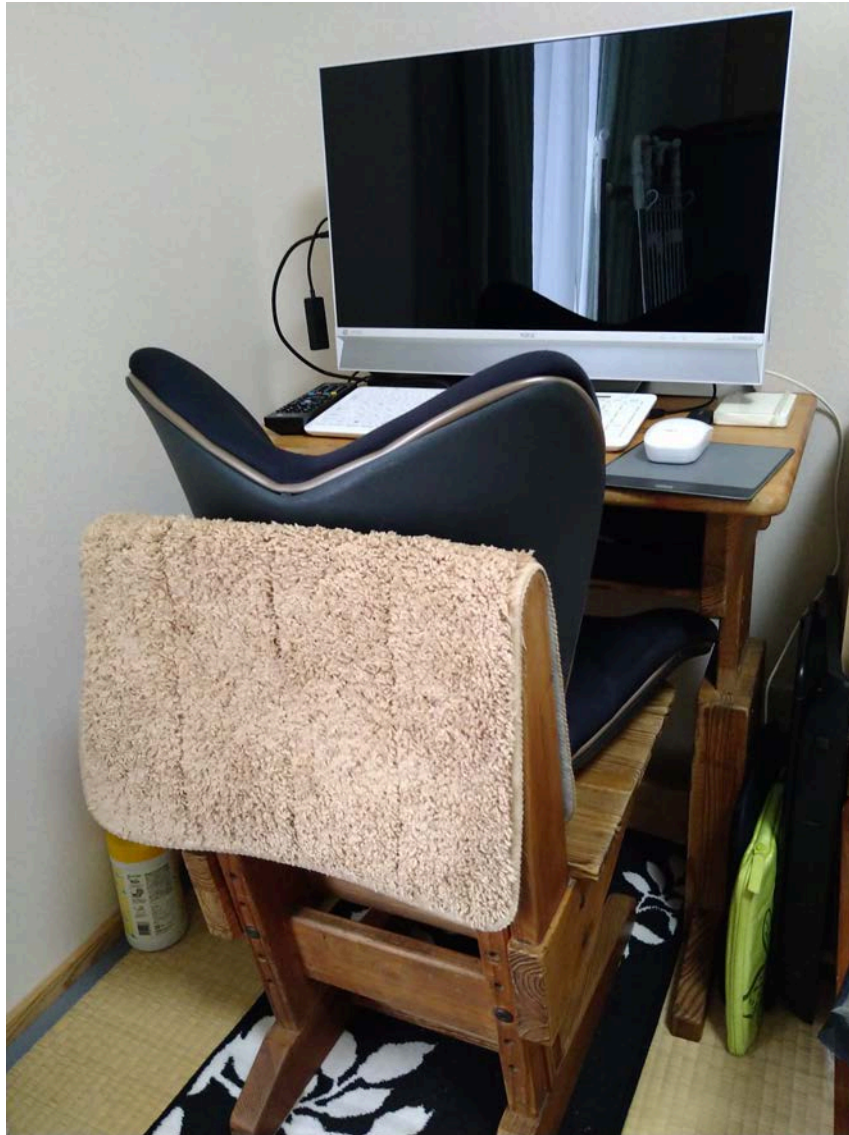
- 地域 | 大崎町
- 使用用途 | 子供の勉強机
- 改変内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig29\_実際の利用の様子(飯盛さま)

**No.12 | 齋藤 義明**

- 地域 | 鹿屋市
- 使用用途 | 自分用のPC机
- 改変内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig30\_実際の利用の様子(齋藤さま)

- コメント  
ばらせる部分を全て外して、住まいの洗剤で拭き掃除、手垢や汚れを除去した後、乾燥・組み立てをして現在はPC机として利用しています。修理、構造変更は行っていません。

**No.13 | 中村 浩**

- 地域 | 鹿児島市
- 使用用途 | DIY用の作業机
- 変更内容 | 引き出しの設置。工具をかけられるようなボードの設置



資料\_fig31\_実際の利用の様子(中村さま)

- コメント  
これで色々な作業がしやすくなります。机と椅子を譲っていただき本当によかったです。こだわりのポイントですが、なるべく費用をかけずに手を加えたいということでしょうか。家にある残り物の材料を使ったりして費用を抑えました。



**No.14** | 谷口 奈々美

- 地域 | 霧島市
- 使用用途 | 子供の勉強机
- 変更内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig32\_譲渡した家具で勉強する様子(谷口奈々美さま)

- コメント |  
そのまま使ってもいいと思い、子供の勉強机にさせていただきました！  
ニコニコでとても嬉しそうに勉強しています！

**No.15 | 山下 翼**

- 地域 | 鹿屋市
- 使用用途 | 子供の机
- 改変内容 | 特になし(そのままの利用)



資料\_fig33\_譲渡した家具で遊んでいる様子(山下さま)

- コメント  
お絵描きや工作をして2人で遊んでいます！！

## 7-2他地域でのリユース/アップサイクル事例

- 名称| 上勝町ゼロ・ウェイストセンター(WHY)<sup>7</sup>  
場所| 徳島県上勝町  
特徴| 町の公共施設。運営主体は株式会社BIG EYE COMPANY。  
廃棄物分別回収施設と住民のコミュニティ施設、体験型宿泊施設が一体になっている。  
施設内に「くるくるショップ」という、不要物の譲渡スペースがある。町民だけが不要品を持ち込み可能(無料)で、無料で町内外問わず持ち帰ることが可能。  
取引量は重さで管理されている。



資料\_fig34\_上空から見たWHY(出典:上勝町ゼロ・ウェイストセンター)

<sup>7</sup>上勝町ゼロ・ウェイストセンターHP参照(最終閲覧日2024年3月22日)  
<https://why-kamikatsu.jp/>

名称 | ReBuilding Center Japan<sup>8</sup>

場所 | 長野県諏訪市

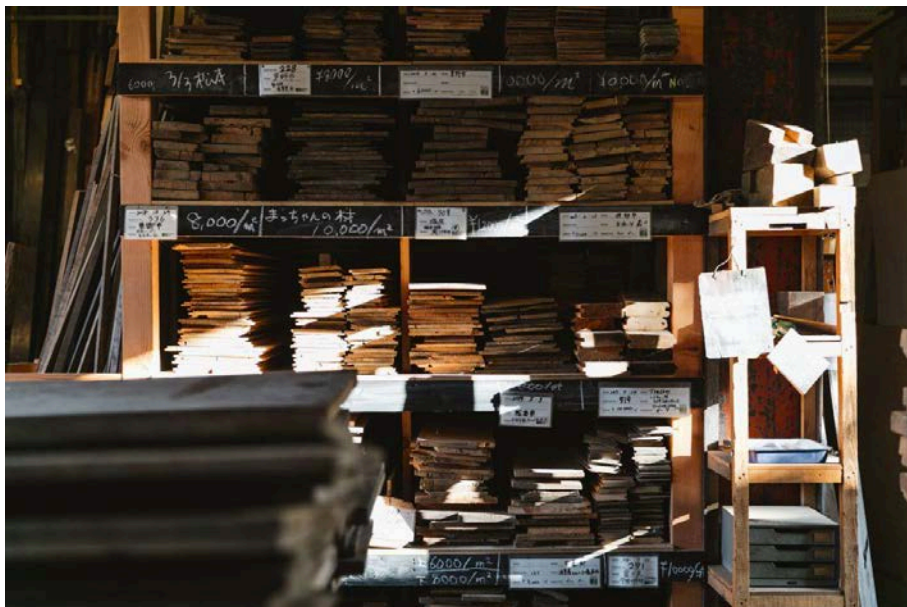
特徴 | 古材と古道具を販売する建築建材のリサイクルショップ。

解体が決まった建物から、古材や古道具を引き取りに行く「レスキュー」を実施。

レスキューしたもののうち、現代の暮らしに不向きなものは新たな用途を提案する。また誰でも店舗での作業に参加できる「サポーターズ制度」や古材店スクールを開講するなど、古材を扱える人の数を増やす取り組みも行っている。



資料\_fig35\_レスキュー風景(出典: ReBuilding Center Japan)



資料\_fig36\_販売されている古材の様子(出典: ReBuilding Center Japan)

<sup>8</sup> ReBuilding Center Japan HP参照(最終閲覧日2024年3月22日)

<https://rebuildingcenter.jp/>

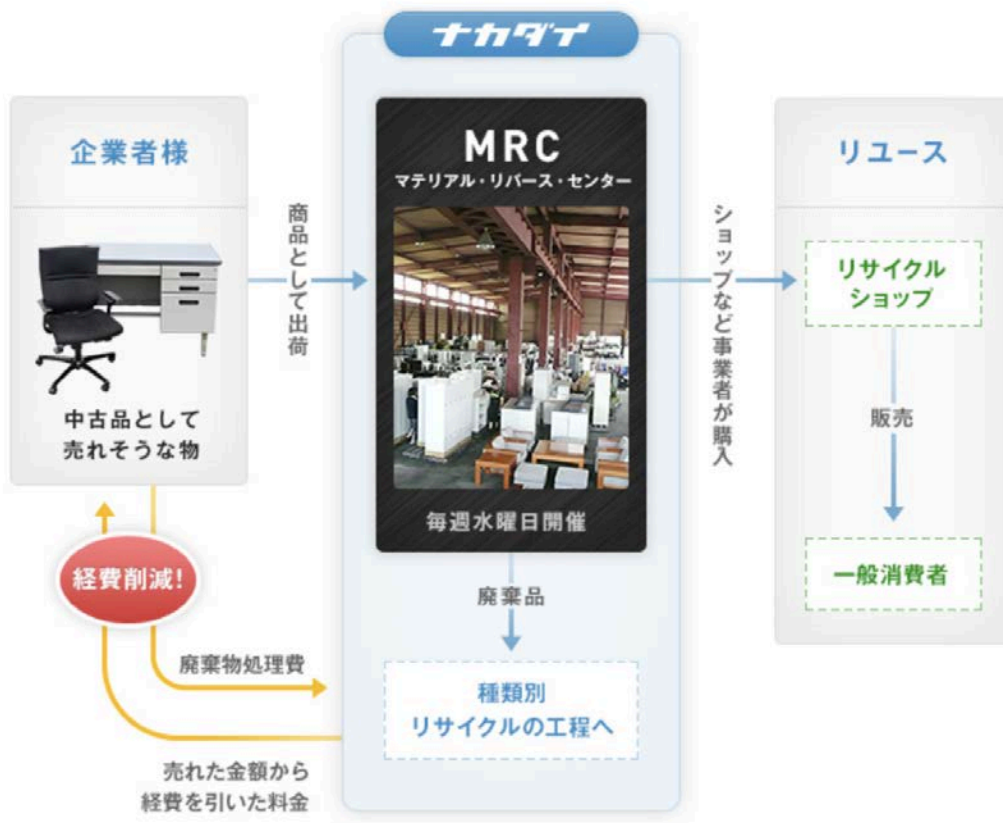
名称 | 株式会社ナカダイ<sup>9</sup>

場所 | 群馬県前橋市

特徴 | 古材と古道具を販売する建築建材のリサイクルショップ。

モノの流れを最適化と環境負荷低減のコンサルティング価値をつけてより魅力的なモノにするなど、そのモノ1個ずつに対し「どのような価値」をつけるか考え、一度は不要だと判断されたモノを素材や商品として再流通させている。

それでも使えないモノはリサイクルにまわし、リユース、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルを合わせると、99%以上のリサイクル率を達成している。



資料\_fig37\_ナカダイが運営する中古品オークション「マテリアル・リバース・センター」  
(出典:株式会社ナカダイ)

<sup>9</sup>株式会社ナカダイ(最終閲覧日2024年3月22日)

<http://www.nakadai.co.jp/>